

心ゆたかに

発行 株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250
ホームページ <http://www.tenpou.co.jp/>
Eメール tenpou@mail.wbs.ne.jp

第108号 発行日 平成25年11月1日

各地で続々と上棟式

静岡県西部



宝珠寺様の山門（左）と鐘楼堂（右）

去る九月二十九（日）、浜松市東区上新屋町の池上山宝珠寺様（臨済宗方広寺派・稲垣邦円住職）において、山門と鐘楼堂の上棟式が執り行われました。

また十月十日（木）には、袋井市宇刈の大日山香勝院様（曹洞宗・村

松延行住職）において、書院庫裡の上棟式が執り行われました。



香勝院様の上棟式の様子

そして、十月十五日（火）、浜松市南区若林町の大徳山広隣寺様（臨済宗方広寺派・松浦正淳住職）において、書院庫裡の上棟式が執り行われました。

さらに十月二十七日（日）、袋井市春岡の安養山西楽寺様（真言宗智山派・丸山照範住職）において、薬師堂の上棟式が執り行われました。

完成に向けて各現場鋭意努力中です。



西楽寺様の薬師堂



広隣寺様の上棟式の様子

見学をご希望の場合、弊社までお気軽にお問い合わせ下さいませ。

「情報化社会」

日本テンプレヴァン(株) 井上拓郎

「お寺とインターネット」

一〇月に全国各地で大きな被害をもたらした台風。皆さんは大丈夫でしたでしょうか？台風による被害（風災、物体の飛来による建物への損害）は、火災保険で補償されるケースがありますので、詳しくは一〇〇号をご覧下さい。

さて今回は情報化社会についてお話し致します。一九九〇年代以降、携帯電話やインターネットの普及により、私たちの暮らしも様変わりしました。今や携帯電話の普及率は九八%、インターネットの普及率は七九・五%（二四年末、総務省発表）となっており、知りたい情報をすぐ検索できたり、全国の色々な方とコミュニケーション

を取れたりと便利になりました。最近ではスマートフォンの普及により、いつでもどこでもネットに繋がる環境がより一層整ってきたと言えます。

弊社へのご相談の中でも、ご寺院のホームページ制作などのご相談が年々増えてきております。主にはご寺院の情報発信の手段としての、ホームページ制作が殆どですが、永代供養墓や納骨堂、境内墓地販売のご案内や、写経、座禅、お茶会、などの行事についてのご案内を作成するご寺院も増えてきました。また寺報などをホームページに掲載したり、境内の四季折々の植物の写真を掲載したりするご寺院もあります。先に挙げました境内墓地などの場合、当然お檀家になっていただく事が条件になると思いますが、少子高齢化や宗教離れなどによって、年々お檀家さんが減少しているこ

とに危惧し、新たな取り組みをされるご寺院が増えてきたのだと思います。

実例として、ホームページがご縁で「お寺の行事に参加した」とか「墓地・納骨堂・永代供養墓の見学に来た」といった話はよく伺います。効果がそれなりにある事は事実です。しかし大事なものは、ホームページはあくまで広報の手段でしかなく、まずお寺に足を運んでもらい、ご住職にお会いし、そこから生まれる良縁を大事にしていきたいという事です。ホームページが布教活動の一助になれば幸いです。

「SNS」

SNSとはソーシャル・ネットワーク

（次頁へ続く）

グ・サービスの略です。SNSはネット上で人と人がコミュニケーションをとるウェブサイトの事です。代表的なものとしては、ツイッターやフェイスブック、ミクシィなどが挙げられます。このSNSですが、最近私の周りでも、ご住職や副住職が情報発信の手段として使われる方が増えてきました。パソコン以外にも、携帯電話やスマートフォンで記事を投稿できるので、気軽に色々な情報を発信する事ができます。どの様に使われているのか、いくつか例を挙げますと、写経会や座禅会、団参旅行などの告知や報告などを写真付きで掲載したりできます。また東北に慰霊法要やボランティアに伺った際の記事を掲載する方も多くいらっしやいました。このこと自体は特段変わった事では無く、普通の事かもしれません

せん。しかし、この記事をお檀家さんが知る立場にあるかどうかで大きく変わります。普段、お檀家さんはご住職の日常業務について知りません。お葬儀やお墓参り、お盆の時期にしか会わないお檀家さんにも、些細なご住職の日常を発信する事によって、距離が近く感じてもらえる様になると思います。布教活動の基本は、フェイス・トゥ・フェイス(顔を合わせて)だと思いますが、現実的に会えない(遠方に住んでいたり、時間的にあまりお寺に伺えない方)に対する、布教活動の手段として活用されてみてはいかがでしょうか？

潮鏡山妙相寺様で落慶式

静岡県浜松市西区志都呂町

去る十月二十八日(月)、浜松市西区志都呂町の妙相寺様(臨済宗妙心寺派・正山豊昭住職)で、本堂諸堂落慶法要が執り行わ

れました。

式典当日は天候に恵まれ、落ち着いた霽囲気の中で肅々と滞りなく式が進められ、建設委員を始めとする檀信徒や建設にかかわった業者など、皆で落慶を祝いました。志都呂町周辺は、新しい雄踏街道が開通してここ数年で目まぐるしく発展しています。御寺門も地域の心の拠り所として今後ますます発展されることでしょう。

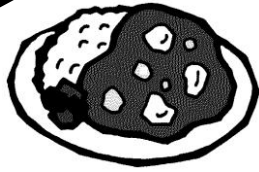


妙相寺様の落慶式の様子

知る得る



ウコンの話



今年もようやくお祭りシーズンが終わりましたが、お祭りの時は普段よりもお酒を飲み過ぎてしまいがちではないでしょうか。私は先日地元のお祭りのタスキ脱ぎ（反省会）で飲み過ぎて、翌日昼過ぎくらいまで二日酔いに苦しみました。ハウス食品の「ウコンの力」を事前に飲んでおけば良かったというより、それ以上にいい歳をして飲み過ぎなければ良かったと後悔しました。今回はウコンの話です。

ウコンはショウガ科ウコン属の多年草で、精油成分とミネラルが豊富で苦味が強い春ウコン（キョウオウ）、クルクミンの含有量が多くて染料や着色料としても利用される秋ウコン（ウコン）、これらとは別種でクルクミンをほとんど含まず精油成分が豊富な紫ウコン（ガジュツ）などが日本でもよく知られ、利用されています。

ウコンに含まれる精油成分にはタ

ーメロン、シオネール、アズレン、カンファール、クルクモールなど百種類以上あります。ターメロンは胆汁の分泌を促したり、殺菌・炎症作用があります。胆汁は肝臓で作られ、脂肪の消化吸収を助けます。シオネールは胆汁の分泌作用、健胃作用、殺菌作用、コレステロール値を下げる働きがあります。クルクモールには抗癌作用があります。

ウコンに含まれるクルクミンはポリフェノールの一種で、カレーに使われるターメリック（ウコン）の黄色色素でもあります。クルクミンは肝臓の解毒作用を高め、胆汁の分泌を促すばかりでなく、抗酸化作用もあります。

ここで注意しなくてはならないのはウコンの精油成分とクルクミンは脂溶性のため水には溶解し難く吸収が難しいことです。カレーなど油を用いた調理法であれば吸収できず、いくら含有率が高いサプ

リメントでも体内に吸収できなければ効果は望めません。先述の「ウコンの力」も、私個人の感想としては、お酒を飲み過ぎた後に飲んでおくと翌朝症状が軽く済んでいる気がしましたが、原材料に油っぽいものの表示が無く、成分表に脂質が0gとなっていることから、それだけを飲んでもウコンの有効成分が体内で吸収出来ている可能性は低いはずです。酒肴の脂肪分の助けか、「コラーゲンのサプリメントを摂取すると肌が艶々になった気がする」と同じ暗示によるプラシーボ（偽薬）効果かもしれません。

また、元々肝臓に障害がある人がウコンの豊富なミネラルで症状を悪化させるといふ事例もあるので、肝臓の悪い人はしっかり医者に診てもらい、二日酔いをしたくない人は飲み過ぎない様にする、ウコンの薬効を活かすなら調理法や摂取法も考える、ということが大切です。